

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年10月20日更新

事務事業名	コミュニティバスバスロケーションシステム導入事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名	内田 秀一郎
	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名	坂田 寛之
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上		所属班	政策企画班	(内線)	1253
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11627	法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法	成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	バスロケーションシステムを導入し、バスの位置情報の把握及び利用者への情報提供(スマートフォン等による)を行い、レターバスの利便性向上を図る。なお、本事業は「広域連携プロジェクト(スクラムチャレンジ)推進事業」を活用することとしている。(現在、菊陽町と協議中)
【業務の流れ】	バスロケーションシステムの導入に賛同する自治体で構成する協議会(または委員会)への参画。費用負担、開発・運営体制等についての検討・協議。システムの導入及び維持管理。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>合志市地域公共交通協議会委員より、レターバスの遅延対策(バスロケ導入及びダイヤ調整)について要望がされている。</li> <li>利用者から「レターバスが来ない」との苦情がされている。</li> <li>乗務員は、ダイヤ遅延による運転業務の負担が大きくなっている。</li> </ul>

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 協議会(又は委員会)への参画
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) →ア:会議回数 イ:	(単位)回 【新規事業】レターバスの遅延に対し、利用者からバスの「見える化」を図り、利便性の向上を図るもの
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア:市の人口 イ:人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) コミュニティバス利用者の増加	③成果指標(意図の達成度を表す指標) →ア:市が委託しているバスや乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがあると答えた市民の割合(市民アンケートより) イ:%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	見込	見込	
①活動指標	ア	回			0	0	4	2			
	イ										
②対象指標	ア	人			0	0	58,474	59,024			
	イ										
③成果指標	ア	%			13	0	13.5	0			
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円					1,647			
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円			0	0	1,647	0		
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0		
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人			0	0	0	0		
		延べ業務時間	時間			0	0	0	0		
(B)人件費計		千円			0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)		千円			0	0	1,647	0			

事務事業名	コミュニティバスパスロケーションシステム導入事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	--------------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						